

OvidSP – Quick Reference Card

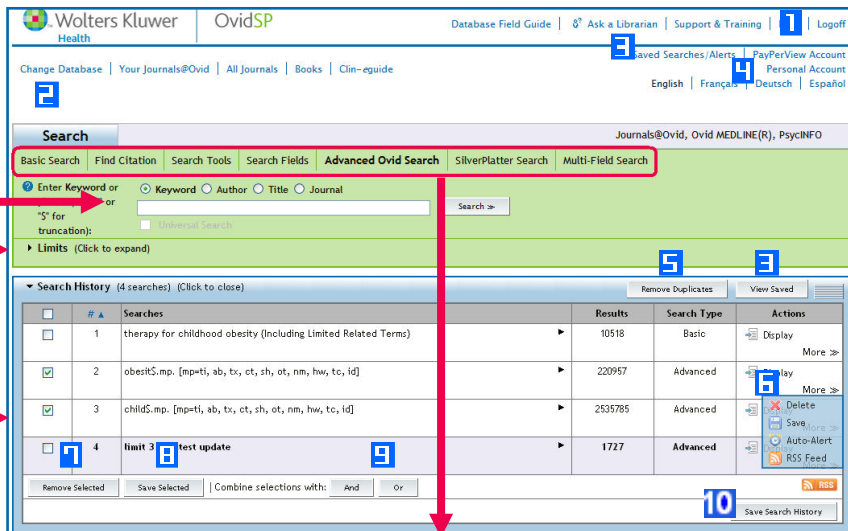
<http://www.ovid.jp/site/images/J0ss/spqrc.pdf>

■ 検索

<Main Search Page>

2009年5月

- コマンドラインに検索語を入力
- Limits をクリックし、絞り込み画面を表示
- 検索履歴を表示。右上の [] をドラッグし、画面トップに移動可能



検索モード	検索タイプ	説明	ヒット件数の上限	結果の表示順
Basic Search	Basic	通常最初にログインした時に開く検索モード。文章形式の質問を Natural Language Processing (自然言語処理) で処理します。	有り。10,000件(NEW!)を目処に表示。件数が非常に多くなる場合は切り捨て。	SCORE (適合率) の高い順に表示。
Find Citation	Advanced	書誌事項の断片情報 (著者、論題、雑誌名など) で文献を確定するモード。	無し。すべて表示。	最新文献から表示。
Search Tools	—	検索したい主題に関連する語句やそのデータベースでよく使われる統制索引語を見つけ出すツールを提供。	—	—
Search Fields	Advanced	特定のフィールドからの検索や索引を通覧します。	無し。すべて表示。	最新文献から表示。
Advanced Ovid Search	Advanced	Ovid の旧インターフェースと同等の検索機能を提供。マッピング機能やコマンド検索ができます。		
SilverPlatter Search	SilverPlatter	SilverPlatter の旧インターフェースと同等の検索を提供。表示されない場合も有り。		
Multi-Field Search	Advanced	特定のフィールドを指定し、AND、OR、NOT を選択することにより、簡単に組み合わせ検索します。		

1	Logoff	検索を終了します。	6	More >>	対応する検索式をすばやく、Delete、Save、Auto Alert、RSS Feed します。NEW !!
2	Change Database	データベースを変更します。	7	Remove Selected	チェックマークで選択した検索式を削除し、検索履歴を整理します。
3	Saved Searches/Alerts View Saved	保存した検索式やアラートの実行、編集、内容表示、削除をします。	8	Save Selected	チェックマークで選択した検索式をすばやく保存します。NEW !!
4	Personal Account	個人アカウントにログインあるいは新規作成します。Annotation、検索式の保存の際に、必要になります。	9	And Or	チェックマークで選択した Advanced の検索タイプの組み合わせ検索します。Basic の組み合わせ検索は、Advanced Ovid Search モードで、コマンド方式で行います
5	Remove Duplicates	マルチファイル検索の結果を最大 6000 件まで、重複データを除去します。	10	Save Search History	検索履歴上のすべての検索式を保存・AutoAlert 登録します。

■ Basic タイプの入力規則

- 質問をできるだけ簡単に説明してください。
- 動詞よりも名詞を使うようにしてください。
- 質問文の中に疑問符、括弧、ハイフンは使わないでください。
- 「Check Spelling」にチェックマークし、ミスペルを回避してください。
- 関連語も含めた検索をする場合は「Include Related Terms」にチェックマークします。
- 「AND」「OR」のボタンで検索履歴の掛け合わせをすることはできません。ただし、Advanced Ovid Search モードで、コマンド方式で行うことはできます。
- 演算子 (and, or, not,) やトランケーション、ワイルドカードは利用できません。

■ Advanced / SilverPlatter タイプの入力規則

- 入力する文字は大文字、小文字どちらでも構いません。
- 句 (フレーズ、複合語) の入力はそのままでスペースでつないで入力します。スペースを入力順で隣接している複合語 (句、フレーズ) と見なします。

- 単語を adjX でつないで入力すると、語順不同で X 語以内で近接していると見なします。入力例: natural adj20 childbirth
- 事後限定: 検索集合番号は再利用できます。フィールド限定や他の検索語と組み合わせることができます。
入力例 2.ti. 2 and 3, 2 or 3, 2 not 3, and/1-3, or/1-3

■ 論理演算子

- and : and で結んだ検索語の両方を共に含むレコードを検索します。
- not : not で結んだ 2 つの検索語に対して前置の語が含まれるレコードの内、後置の語が含まれないレコードを検索します。
- or : or で結んだ検索語の少なくともいずれか一方を含むレコードを検索します。

■ トランケーション

- * または \$: 文字数無制限トランケーション (disease\$)
- \$X: 文字数制限トランケーション (dog\$2)

■ ワイルドカード

- #: 変化文字数は 1 文字 (wom#n) ? : 変化文字数は 0 か 1 文字 (colo#r)

■ アクセス方法

1. 通常のアクセス

- IP認証の場合:<http://ovidsp.ovid.com/autologin.html>
- ID/Password認証の場合:<http://ovidsp.ovid.com/>

「リソース選択画面」あるいは「ニュース画面」にアクセスします。

2. JumpStart機能でアクセス

JumpStart機能により、希望画面から検索をスタートすることができます。例えば「検索画面」「Journals@Ovidの購読リスト」「Books@Ovid購読リスト」などの画面にワンクリックでジャンプすることができます。自機関ウェブサイト上にリンクを設定しご利用ください。開いた画面に「Email JumpStart」アイコンがあれば、その画面のJumpStart URLをEmail送信することができます。

■ リソースの選択画面

契約している全てのリソース(データベース、電子ジャーナル、電子ブック)を表示します。

・リソースをひとつだけ選択する場合は、リソース名をクリックします。
・複数のリソースを選択する場合は、チェックボックスを複数選択してから、**Open Selected Resources>>>**ボタンをクリックします。

■ 検索結果表示

Search History(検索履歴)の「Display」ボタンをクリックすると、その検索集合に含まれるレコードを表示する Search Results 画面が開きます。

1 Search Aid: 検索補助画面を表示します。

- ・Your search: 検索に取り上げられた語句を一覧表示します。
 - ・Limit to Star Ranking: スター毎のヒット件数を確認し絞込みます。NEW !!
 - ・Narrower search: 検索結果を分析し、適切な絞込みが行える出現頻度の高い概念が主題・著者名・雑誌名に分けて表示します。
 - ・Broaden search: より広範な検索ができるよう、関連する語を含めた検索を行います。Basicモードの「Include Related Terms」と同等の機能。
- 2 論題表示画面: 直近あるいは検索履歴の「Display」のクリックで、指定した検索式の検索結果を論題リストの形で表示します。検索に使用された語句は、ハイライト表示します。Basicの場合は、入力語を赤で関連語を緑で色分けして表示します。

注釈: 任意のレコードに注釈を加えます。

View Abstract : 抄録 : 論題表示画面内で、同一ウィンドウに抄録を表示します。

Find Similar : 類似文献を検索します。(検索対象に Books@Ovid が含まれていると、表示されません。)

Find Citing Articles : 当該レコードが引用している文献を表示します。(Journals@Ovid 購読者限定)

3 関連情報へのリンク: フルレコードの表示(Complete Reference)、抄録の表示(Abstract)、Ovid フルテキスト(PDF Full Text NEW!!、Ovid Full Text)など出力する情報へのリンクのほか、図書館所蔵情報(Library Holdings)、フルテキスト(Full Text)、書誌情報(Bibliographic Links)など外部情報源へのリンクを表示します。

■ 画面表示・印刷・Email・保存

画面の上下に Result Manager ボックスを表示します。

Results: 出力するレコードの選択

- Selected Results : 現在表示されている画面上から選択したレコードのみ。あるいは and/or Range で指定。(入力例: 1-30, 45-60)
- All on this page: 画面上に表示されているページにあるレコード全部(デフォルトでは10件)
- All in this set : 現在表示されている検索集合に含まれる全レコード

Fields: 出力するフィールドの指定

あらかじめ定められている組合せ(Citation, Citation + Abstracts など)または全情報出力(Complete Reference)オプションを選択します。Select Fields をクリックして、任意のフィールドを選択して出力することもできます。

Results Format: 出力するフォーマットの指定

・Ovid ・BRS/Tagged ・Reprint/Medlars Brief(Titles) Display ・Direct Export ・XML

※文献管理ソフト(EndNote、ProCite、Reference Manager、RefWorks)にエクスポートするには、「Direct Export」を指定し、「Save」をクリックします。

Includes Search History: 検索履歴の出力の有無を指定。チェックすると検索履歴と一緒に出力します。

Includes link to each record: チェックすると、各レコードのリンク(URL)と一緒に出力します。NEW !!

Sort Keys: レコードの並び替え 任意の項目を指定して、レコードの並び替えをして出力します。

Actions: 出力モードの選択

- Display : 選択したレコードを、指定したフィールド、フォーマットで、**アクティブ・リンクと共に表示**します。
- Print Preview : 選択したレコードを、指定したフィールド、フォーマットで、印刷プレビュー画面として表示します。ウェブ・ブラウザの印刷機能を使って**印刷**します。
- E-Mail : 選択したレコードを、指定したフィールド、フォーマットで、指定した **e-mail アドレスへ送信**します。
- Save : 選択したレコードを、指定したフィールド、フォーマットで、ASCII または HTML フォーマットでダウンロードし**保存**します。

■ 検索式の保存および保存検索式の実行・編集・内容表示・削除

検索画面の **Save Search History** のクリックで作成した検索式を保存します。**Saved Searches/Alerts** のクリックで保存検索式の実行・編集・内容表示・削除をします。

- Temporary: 一時保存。24 時間保存します。
- Permanent: 永久保存。削除しない限り、永久に保存します。
- Expert Search: 検索の熟練者が、重要な主題に関する検索式を作成し、同一グループ内のユーザーが、その保存検索式を共有することができます。
- AutoAlert(SDI): 常にフォローしたいテーマの最新情報を自動的に入手できます。AutoAlert(SDI)登録すると、検索式を自動的に実行し、更新レコードのみを電子メールまたは RSS を通して、お知らせします。